

2012 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL CENTER

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？

暮らしと火水木風土



現代社会とキリスト教

地域とつながる

賀川と差別

愛することより大切にすることを求めたい

社会で小さくされ、つらい思いをしているだれかの前に立つとき、家族のように愛せるか、親友のように好きになれるかと、自分に問うことは、無意味です。自分自身が大切にあつかってもらいたいように、その人を大切にしようとする態度を決める。そのとき、互いの尊厳を認め合うかわりが始まります。

講師 **本田 哲郎** 釜ヶ崎ふるさとの家・フランシスコ会神父

本田哲郎先生プロフィール

1942年台湾台中市生まれ。敗戦後、奄美大島に引き揚げ。1965年上智大学文学部スコラ哲学科卒。フランシスコ会入会。1971年フランシスコ会聖アントニオ神学院（東京）卒。司祭叙階。1972年上智大学神学部修士課程（聖書神学）修了。ローマへ留学。1976年ローマ教皇庁立聖書研究所卒。1977年東京フランシスコ会聖書研究所／神学院聖書学教師。新共同訳聖書翻訳・編集委員。1983年フランシスコ会日本管区長。会員視察の中で大阪釜ヶ崎を訪ねて、回心。1989年任期終了とともに志願して釜ヶ崎「ふるさとの家」に。釜ヶ崎の日雇い労働者の感性に学びながら聖書の見直しを始める。1993年「釜ヶ崎就労・生活保障制度の実現を目指す連絡会」（反失連）共同代表。1999年NPO法人「釜ヶ崎支援機構」の設立。初代理事長。現在は反失連の共同代表、NPOの理事をしながら、「ふるさとの家」で野宿の労働者の散髪、聖書の見直し翻訳作業をしている。

9/29

2012年 9月 29日(土) 15:00～17:00

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500円（参加お申し込みは賀川記念館事務局まで）